

研究課題名	Stage IV 胃癌に対する治療成績に関する多施設後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	<p>Stage IV 胃癌患者様に対する治療歴、治療成績を多施設において後ろ向きかつ網羅的にデータ収集を行います。その中で、高齢者と非高齢者、コンバージョン手術（以下に定義を記載しています）施行症例と非施行症例の差異に着目した検討を行うことが目的です。</p> <p>（コンバージョン手術とは当初、根治切除不能と判断されていた Stage IV の患者様において化学療法後に根治切除可能となり行う手術を指します。）</p> <p>また、本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。</p>
研究を行う期間	総研究機関は実施許可後、2026 年 3 月までです。
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2022/1/1 から 2022/12/31 の間に下記の研究機関で胃癌に対して化学療法を開始された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ】</p>
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	地方独立行政法人市立東大阪医療センター 研究機関の長の氏名：中 隆
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	地方独立行政法人市立東大阪医療センター 消化器外科 松山 仁 電話番号：06-6781-5101
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は OGSG へ頂いた情報を提供します。</p> <p>大阪消化管がん化学療法研究会 (OGSG: Osaka Gastrointestinal Cancer Chemotherapy Study Group) 研究組織代表者：佐藤太郎</p> <p>OGSG は消化管がんの治療成績の向上に寄与することを目的とした研究会であり、特定非営利活動法人臨床試験推進機構の会員である。データセンターを有しており、本研究において、匿名化したデータに関してのデータマネイジメントや各種事務局業務を行います。</p> <p>以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】</p>

	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学 前田 清
本研究の利益相反	利利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。

	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	地方独立行政法人市立東大阪医療センター 消化器外科 (担当者氏名) 松山 仁 電話番号: 06-6781-5101